

Whisky World

ウイスキー・ワールド

2013 JUNE

定価1300円

アメリカンウイスキー
蒸留所大カタログ



ボトラーズ名鑑
第3回

ダンカンテイラー

アデルフイー

マスター・オブ・モルト

etc

大阪 7月7日(日)

東京 7月21日(日) バーボン & アメリカンフエス

2つのウイスキーフェスティバルが7月に開催!

ボトラーズへの扉を開く ビジネス街の ホットなモルトバー

重 厚なバードアを開くと、古木のゆらぎと温もりが伝わる、ゆったりとした空間が広がる。店内の真ん中で心地よい水音をたてるのは、蓮をモチーフにした巨大なオブジェ。くぐぐの字型のカウンターと、高さを揃えた2つのテーブルが、それを囲むように配されている。カウンター側の、天井に近い壁に貼られているのは、ボトラーズ物のウイスキーラベル。

「あのウイスキーは美味しかったね」「あのボトルはいつ空いたんだっけ」とお客様と情報が共有できるように、いつからか貼るようになったんです。特にボトラーズ物は二期一会ですし、ラベルのデザインも見ていて

楽しいですから」。

そう説明してくれたのは、店長の湯田綾さん。神奈川県町田のバーで腕を磨き、5年前のオープン時から、この店のカウンターを任される、バーテンダーとして10数年のキャリアを積んだ、女性ウイスキーエキスパートだ。

バックバーに並ぶのは、オフィシャルからボトラーズ物までバランスよく揃った、約300本のモルトウイスキー。

「私以外に2名の女性バーテンダーがいるのですが、偶然、全員がモルト好き。ボトラーズアイテムに関しては、インポーターさんのセミナーや酒販店で必ず試飲して、3

「古い友人の家に遊びに来たような心温まるバー」がコンセプト。一人掛けソファのような革張りの椅子など、そこかしこに心を落ち着かせる仕掛けが用意されている。



左から「スリーリバーズ・オリジナル
クライヌリッシュ1989 22年」1800
円、GMの「ロングモーン1967 43年
ケルティックラベル」3000円、デュ
ワーラトリーの「カスクコレクション
クーリー11年」1200円。

左 / プライベートでもモルト党という湯田さん。「ボトルラズアイテムでは特にスリーリバーズさんの
“オリジナル クライヌリッシュ”シリーズが好きで、これだけは私の独断で毎回仕入れてます」。同
シリーズは、お店でもファンが多いのだとか。

右下 / 生チョコレートの盛り合わせ (600円)をはじめ、「黒ゴマを使った薬膳カレー」や「真夜中の
ナポリタン」(どちらも1000円)など、フード類も充実。モルトと合わせるなら、半熟卵やしらす、カモ肉
など、日替わりで用意される「自家製のくんせい盛り合わせ」もおススメだ。



Bar's Bar バルズ バー

住所 / 東京都港区赤坂3-6-20 第9ポールスタービル1F
電話 / 03-5114-6161
営業時間 / 18:00~翌4:00 (LO翌3:00) ※土曜、祝日は~24:00 (LO23:30)
定休日 / 日曜
料金 / チャージ800円 (チャーム付き)、ウイスキー800円~、
シングルモルト1000円~
※モルトはハーフショットでのオーダーも可
交通 / 地下鉄千代田線赤坂駅1番出口より徒歩2分、
地下鉄丸の内線赤坂見附駅より徒歩3分
<http://www.barsbar.jp/>

人でボトルを選びます。もちろん、「これ
はあのお客様が好きそうだな」というボト
ルは、優先して仕入れています」。

赤坂見附という土地柄、常連客の大半
は仕事帰りのビジネスパーソン。湯田さん
にすすめられた1杯を契機に、モルト党に
なる女性客も少なくない。

「カスクストレングスのボトルラズ物の場
合、お仕事でお疲れ気味だとキツく感じて
しまう方もおられます。そうした場合は
常温の水で加水し、1〜2度だけ度数を
落としてご提供することもありますね」。

そんな女性らしい気遣いも心地いい。ゆ
るりとモルトを愉しむのももちろん、ボト
ラーズ入門を果たすのにも、うつつけ
のバーである。